



形成外科の紹介

平成 29 年 4 月より
さいたま市立病院に
おいて形成外科診療を
開始いたしましたので、
地域の皆様方に謹んで
お知らせ申し上げます。



現在、常勤 1 名、金曜午後のみ非常勤 1 名を加えた 2 名体制で診療を行っております。病院正面玄関から入ってすぐ左側の外科外来のならびに、形成外科の診察室がございます。外来診察室は十分な広さを確保しており、小手術であれば外来で行うことも可能です。

形成外科は他科と比べると比較的歴史が浅いため、形成外科という名前は聞いたことがあっても、どのような病気を診るのかご存知ない方も多いかもしれません。形成外科は、具体的には以下のような病気を、主に手術をすることで治療しています。

やけど 顔のけが、顔の骨折

皮膚や皮膚の下にできたできもの

手術後の変形 (皮膚がんや乳がんの手術後の再建など)

傷あとや、傷によるひきつれ 床ずれや治りにくい足の傷

生まれつきの変形 わきが(腋臭症)

手術後の手・足のむくみ (リンパ浮腫)

まぶたが挙げにくい・重い (眼瞼下垂症)

逆さまつげ(眼瞼内反症、睫毛内反症) など

顔のけがや骨折、皮膚のできものは単に治療するだけでなく、傷あとをなるべく目立たないように治療するのが形成外科の特色です。また、床ずれや糖尿病の方の足の傷など、なかなか治りにくい傷の治療も、形成外科の得意とする分野です。

形成外科を受診される方で最近多いのは、眼瞼下垂症の方です。眼瞼下垂症は加齢とともに上まぶたがさがり、目が開けにくくなる状態のことで、保険での治療が可能です。手術を行うことで目が開けやすくなり、見た目の印象も若々しくなります。

このように機能面・形態面での改善を重視した治療を行うのも、特色の一つです。

外来は月曜日、火曜日の午前、金曜日の午前・午後に行っております。

地域の皆様の医療に少しでも貢献できますよう、受診された患者さんには責任を持って診療にあたらせていただきます。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



クリスマス会

12月22日(金)、小児病棟でクリスマス会を行いました。
小児病棟では、入院している子どもたちへ、看護師が中心となり、他職種の方と協力して、年間3回のイベントを企画し、季節感を楽しんでもらっています。



さいたま市立病院 新病院建設工事について

2018.01.29 撮影

病院本館、別館及びスロープ棟は、基礎躯体工事を施工中。構台も形が見えてきました。

	病院本館	別館棟	仮設設備
2018年2月	土工事、基礎躯体工事	基礎躯体工事	構台設置、クローラクレーン組立
2018年3月	基礎躯体工事	基礎躯体工事	クローラクレーンの揚重作業
2018年4月	基礎躯体工事	基礎躯体工事	クローラクレーンの揚重作業

※広報誌えがおは当院ホームページ (<http://saitama-city-hsp.jp>)に掲載しておりますので、どうぞご覧ください。
※この印刷物は700部制作し、1部当たりの印刷経費は54円です。